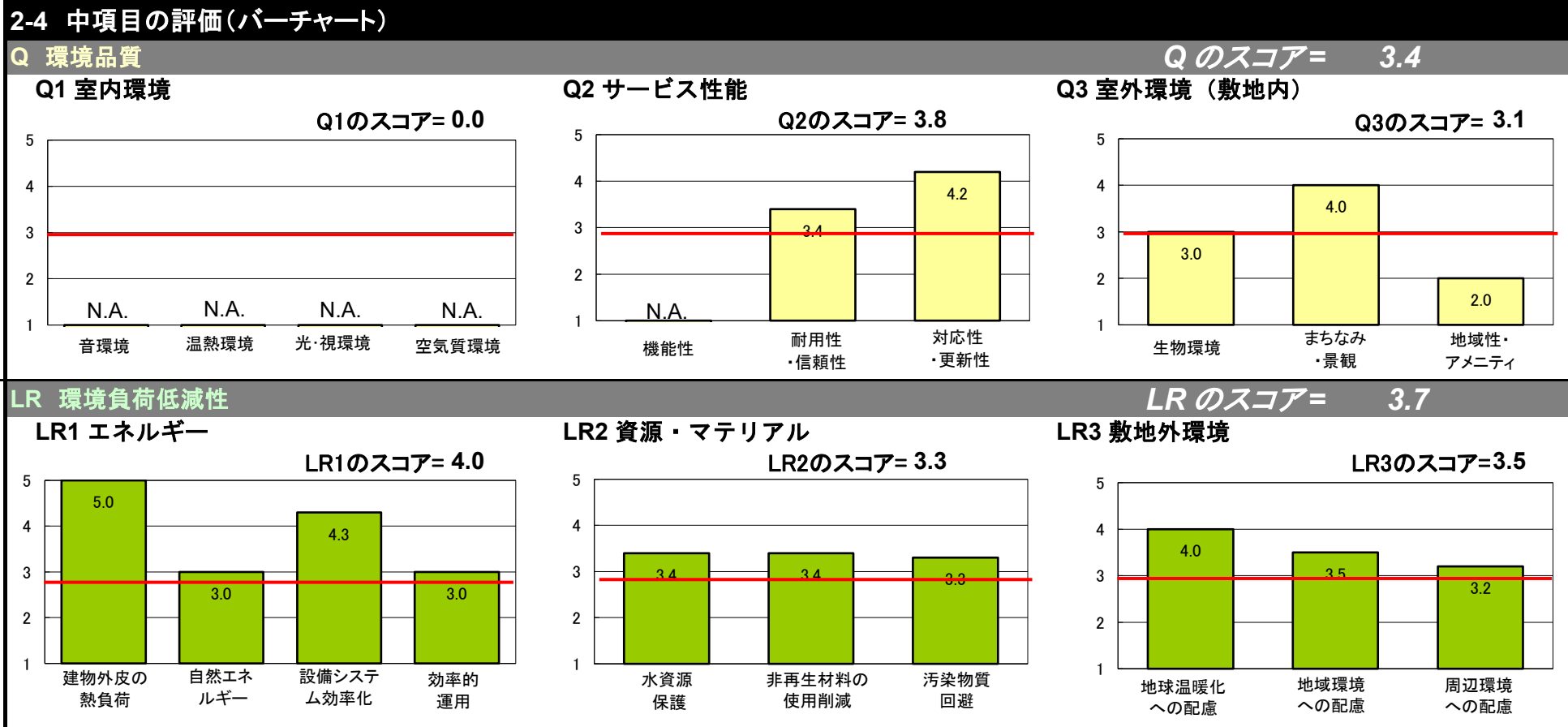
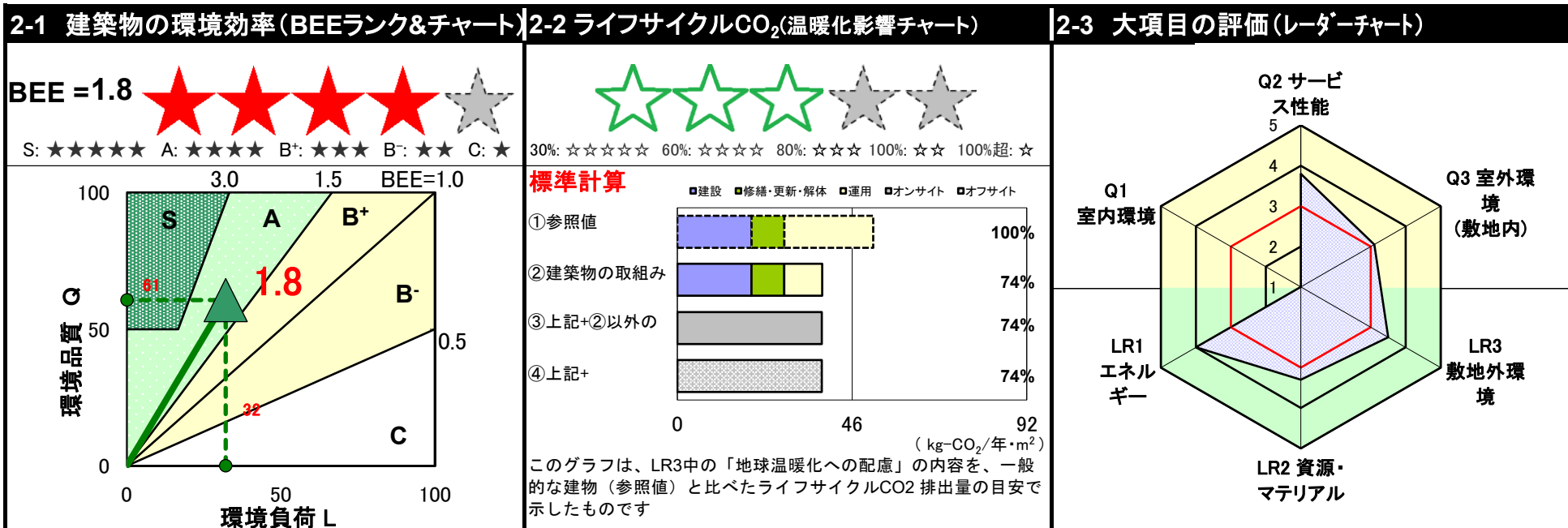


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DPL寒川 I 新築工事	階数	地上4階
建設地	高座郡寒川町田端4005-1、2、3	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	507 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年6月 予定	評価の実施日	2026年2月3日
敷地面積	37,648 m ²	作成者	株式会社 久米設計
建築面積	22,957 m ²	確認日	2026年2月3日
延床面積	88,862 m ²	確認者	株式会社 久米設計



3 設計上の配慮事項		
総合 ・高効率な設備機器 (LED照明) の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他 —
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) —
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される